

沖縄産住家に侵入する蟻類

寺 西 暢

此所に、鈴木元治郎氏が先年沖縄の或る病院の一室に於て枕頭から採集せられた蟻類を報告しようと思ふ。之に依て該地方に於ける屋内害蟲としての蟻の一端を窺ふ事が出来ると同時に又未だ殆んど暗黒に在る西南諸島の蟻相に對し多少の光明を投げ得ると信ずる。

MYRMICINAE

1. *Pheidole* sp. 職蟲 3 頭、

採品は職蟲のみで兵蟻を存しない爲めに種の査定は困難である。

2. *Monomorium pharaonis* (LINNAEUS). 翅脱落の雌 1 頭、職蟲 50 頭。

此種に就いては既に本誌第 2 卷第 4 號 242 頁に書いた通り極めて厄介なもので云所 Argentine ant, *Iridomyrmex humilis* と共に屋内害蟲としての蟻の双璧である。

3. *Monomorium floricola* (JERDON). 職蟲 2 頭。

F. SMITH (Trans. Ent. Soc. London, 1874, p. 406) が LEWIS の採品によつて兵庫から *Monomorium intrudens* なる 1 種を記載したのを EMERY (Deut Ent. Zeit., 1908, p. 682) 及び WHEELER (Bull. Amer. Mus. Nat. Hist., XXII, 1906, p. 310) が記載に基いて之を *M. floricola* にしてしまつて以來此種が内地にも産する事になつて居る。私は之を兵庫、神戸はもとより廣く表日本の海岸地方に久しく求めて居るが未だ手に入れる事が出来ない。見付かるものは之れと近縁の *M. minutum* ばかりである。此の事實は私に次の様な疑問を起させる。LEWIS の採品は何所からか輸入されて一時的に存在したものが、若し然らずば其れは *M. minutum* ではなかつたか。

4. *Monomorium (Parholcomyrmex) latinode* MAYR. 職蟲 7 頭。

DOLICHODERINAE

5. *Tapinoma melanocephalum* (FABRICIUS). 職蟲 40 頭。

本種が大阪天王寺植物園の温室に入つて居る事は本誌第 1 卷第 2 號に報告した。

6. *Iridomyrmex glaber* (MAYR). 職蟲 5 頭。

FORMICINAE

7. *Plagiolepis (Anoplolepis) longipes* (JERDON). 職蟲 3 頭。

8. *Paratrechina longicornis* (LATREILLE). 職蟲 8 頭。

此種を神戸で得た事は昆蟲世界 XXVIII 卷 54 頁及び本誌第 2 卷 4 號 242 頁に報告したが最近學友佐藤覺兄から朝鮮釜山の近くにも得た由通知を受けた。

9. *Paratrechina bourbonica* FOREL. sub-sp. *bengalensis* FOREL. 職蟲 30 頭。

以上 9 種中特に内地に於ける産地に言及したものの外は全て未だ内地からは発見されて居ないが 9 種全部が Cosmopolitan 或は Tropicopolitan として知られて居るもので全て臺灣に居る。

家屋に侵入する蟻を大別して、家屋内に巢を造るものと、屋外に住んで食物を獲る目的で屋内に入り来るものとの二つにする事が出来る。此所に挙げた 9 種中前者に屬するものは *Monomorium pharaonis* 1 種で他は全て後者だと思ふ。後者が屋内に侵入する原因の最も大きなものは屋外に於ける自然の食物の不足であるが屋内の不潔が亦彼等を誘引する事は云ふ迄もない。

〔附 記〕

Odontoponera transversa (F. SMITH).

鈴木氏沖繩の採品中に職蟲 1 頭を検出する事が出来た。屋内での採品ではないが序を以て附記して置く。本種は臺灣の澎湖島に産すると云ふ報告がある(楚南仁博氏、昆蟲世界 178 號 62 頁、1912)。